

問題基盤型学習 —信頼される医療—

責 任 者 : 平野 浩子 教授

担当講座(科) : 哲学科、文学科、心理学科、法学科、数学科、物理学科、化学科、
生物学科、英語科、ドイツ語科、体育学科

演 習 19.5 時間

単 位 1 単位

学 年

1 学年 前期

学習方針

基本理念:

本科目は全学部の1学年の学生に対して同時に行われるものである。まず学長が本学の建学の精神と歴史を含めて、医療人としての心構えを説く。次に全学生を3学部混成の40のグループに分け、少人数による問題基盤型の学習を行う。すなわちテーマである「信頼される医療」について、問題点を明らかにし、その解決策を検討する。そこでは、アイスブレイキング、ワークショップ(WS)を行った上で、チュートリアル制度を有機的に連結して、問題抽出、自己学習、グループディスカッション、発表・討論等の能力を高める。またグループ内での役割を認識し、同じ学部の学生のみならず他学部の学生、ならびにチュータである教員との交流を深め、さらに今後の医療系大学での学習のモチベーションを高揚させる。

一般目標 (GIO):

与えられた事例から適切な問題点を抽出して自己学習し、グループ毎にその成果をまとめて発表する、チュートリアルシステムによる問題基盤型学習方法(problem-based learning : PBL)を身につけると共に、その過程で医科大学での学習に対するモチベーションを高める。

到達目標 (SBOs):

1. KJ法を使用して問題点を抽出できる。
2. シナリオから問題点を抽出できる。
3. 図書館やインターネットを利用して必要な知識や情報を収集できる。
4. 調べた情報に根拠づけができる。
5. 自己学習能力を高めることができる。
6. グループで協力して成果をまとめることができる。
7. 効果的なプレゼンテーションができる。
8. プレゼンテーションに対して的確なディスカッションができる。
9. 信頼される医療について問題点を明らかにすることで社会の期待を認識できる。

講義日程

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
4/18	金	4	哲 学 科 文 学 科 心 理 学 科 法 学 科 数 学 科 数 学 科 物 理 学 科 物 理 学 科 物 理 学 科 化 学 科 化 学 科 化 学 科 生 物 学 科 生 物 学 科 生 物 学 科 英 語 科 英 語 科 英 語 科 英 語 科 ドイ ツ 語 科 体 育 学 科 体 育 学 科	遠藤 寿一 准教授 黒澤 勉 教授 田中 潜次郎 教授 廣瀬 清英 講師 高橋 敬 教授 飯田 安保 講師 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 寒河江 康朗 助教 平野 浩子 教授 中島 理 准教授 岩渕 玲子 助教 松政 正俊 准教授 三枝 聖 講師 八島 洋一 助教 小野 美知子 准教授 中野 好 講師 James Hobbs 講師 工藤 裕子 嘱託講師 渡部 貞昭 教授 作山 正美 教授 小山 薫 助教	PBL オリエンテーション KJ 法についての解説
5/ 2	〃	〃	〃	〃	<u>WS-1</u> : アイスブレイキングを通してグループ内の交流を深める。 KJ 法を用いて「信頼される医療」について の問題点を抽出する。
5/ 9	〃	〃	〃	〃	<u>WS-2</u> : 抽出された問題点を整理し、重要かつ緊急な問題を選び、それらについて社会の ニーズや自分の考えを述べ合い、議論する。
5/16	〃	〃	〃	〃	<u>WS-3</u> : KJ 法の結果と討論の内容を発表できる形にまとめる。

月日	曜	時限	講座 (科) 名	担 当 者	内 容
5/23	金	4	〃	〃	<u>WS-4</u> : 発表会 (発表と討論)
5/30	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-1</u> : WS での議論のなかから、さらに深く追求したい事柄を抽出する。
6/ 6	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-2</u> : 抽出されたもののなかから各自がテーマを選択し、それについて自己学習する。
6/13	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-3</u> : これまでの自己学習の内容をグループで確認し、さらに自己学習を続ける。
6/20	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-4</u> : これまでの自己学習の内容をグループで確認し、方向性を調整する。
6/27	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-5</u> : 自己学習してきたものをグループ全体として1つのものにまとめる。
7/ 4	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-6</u> : 発表のためのまとめ、提出するレポート、発表会に使用するスライドなどを作成する。
7/11	〃	〃	〃	〃	<u>PBL テュートリアル-7</u> : 発表会 (発表と討論)
8/29	〃	〃	〃	〃	報告書の作成

教科書 (教) ・参考文献 (参) ・推奨図書 (推)

授業で配布する資料を使用する。

成績評価方法

成績は 100 点満点で評価し、その配分は、出席 : 40%、教員による評価 : 40%、自己学習レポート : 20%とする。

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方 式	曜	時間帯	備 考
化 学 科 平野 浩子	B - i	月～金		在室時いつでも可
化 学 科 中島 理	B - i	月～金		在室時いつでも可

授業を担当する専任教員氏名	方 式	曜	時間帯	備 考
化 学 科 岩 淵 玲 子	B - i	月～金		在室時いつでも可
哲 学 科 遠 藤 寿 一	A - i	月～金	昼～17:00	事前に電話やメールがあると確実です。
文 学 科 黒 澤 勉	A - i	月～金	12:00～17:00	
心 理 学 科 田 中 潜 次 郎	B - i	月～金	9:00～17:00	
法 学 科 廣 瀬 清 英	B - ii	月～金		
数 学 科 高 橋 敬	B - i	月～金	特に限定しない	双方で時間が許す範囲で対応する。
数 学 科 飯 田 安 保	B - i	月～金		自由に質問に来てください。時間の許す限り対応します。事前に連絡があると確実です。
物 理 学 科 佐 藤 英 一	B - i	月～金	講義の無い時	
物 理 学 科 小 松 真	B - i	月～金	講義の無い時	在室時を事前確認すれば確実
物 理 学 科 寒 河 江 康 朗	B - i	月～金		
生 物 学 科 松 政 正 俊	B - i	月～金		E-mail でのアポイント可能
生 物 学 科 三 枝 聖	B - i	月～金		E-mail でのアポイント可能
生 物 学 科 八 島 洋 一	B - i	月～金		E-mail でのアポイント可能
英 語 科 小 野 美 知 子	B - i	月～金		
英 語 科 中 野 好	A - i	月～金	12:00～13:00 16:10～16:40	
英 語 科 James Hobbs	B - i	月～金		在室時いつでも可
英 語 科 工 藤 裕 子	B - i	月～金		
ドイ ツ 語 科 渡 部 貞 昭	B - i	月～金		
体 育 学 科 作 山 正 美	B - i	月～金		
体 育 学 科 小 山 薫	B - i	月～金		